

どんな話題が！？ 地域からの声

新幹線とバス利用について

？ 並行在来線廃止とバス転換が決まったが、新幹線だけではなくバス利用でも、これまでより住民が利用しやすくしてほしい

今年度の「まちトーク」は、6月27日(月)から7月15日(金)までの期間中に、役場や各地域会館などの11会場で全12回開催しました。

ここでは、会場で住民の皆さんから出された意見や要望・質問と、それに対する町からの回答の一部を紹介します。

新幹線開業後は、暮らすのは倶知安、学校や職場は札幌という人が多くなると思う。バスも高速道路を利用するなど工夫すれば、これまでより移動時間が短く利便性は高まると思うので、しっかりと検討したい。

郊外地域の足の確保について

？ 郊外地域を運行する路線バスは本数が少なく、じゃがりん号がある市街地と比べて不便だと感じる。じゃがりん号を郊外まで拡大させるなど、何か良い方法はないか

じゃがりん号は、路線バスがない地域を運行することで補助金が出ており、郊外地域への拡大は難しい。その代わりとして、郊外地域では昨年度からじゃがたくの実証運行を行っている。今年度は、前回利用者の多かった冬季間に約3カ月間実証運行をする予定なので、たくさん利用して改善点などを町に伝えてほしい。

マイナンバーカードについて

？ マイナンバーカードを作るのに必要なものは何か。代理で申請することはできるか

通知カードと免許証などの身分証明書があれば可能。代理での申請はできないが、職員が町内会や事業所などへ出向き申請を受け付けることもできるので、ぜひ連絡してほしい。

プールの建設について

？ 町営プールが閉鎖しているが、新しいプールの建設に向けた検討状況はどうなっているか

プール利用に関するアンケートを実施し、これから建設場所や利用期間などの具体的な検討に入るので、「どんなプールなら利用したいか」など、どんどん意見を伝えてほしい。

スキーの町宣言について

？ スキーの町宣言50周年記念事業とは、どんなことをするのか

地域にゆかりのあるアスリートの講演会や冠大会を開催する。この50周年を契機として、ウィンタースポーツの振興やアスリートの育成など、将来に向けた取り組みについても考えていくきっかけとしたい。

旭ヶ丘のジャンプ台について

？ 旭ヶ丘スキー場のジャンプ台が老朽化して危険。モニュメントとして残すのか、それとも解体するのか

時期は未定だが解体する予定。解体すれば、ジャンプ台があったスキー場斜面の新たな活用なども考えることができる。



特集

まちづくりに生かす声



まちトークは 自由な対話の場

住民の皆さんが、日頃から感じている思いや考えを町に伝える機会はさまざまですが、その一つとなるのが『まちトーク』。まちトークでは、テーマを設けずに住民の皆さんと町長が自由にまちづくりについて語り合います。

そこで出された意見や要望は、職員間で情報共有され、町は、その声を現在進めている事業や今後の取り組みに生かしていきます。

このまちトークについて文字町長は、「住民の皆さんならではの目線から、町が気付いていないことを聞くことができる良い機会。皆さんと楽しみながら自由に対話ができる場にしていきたい」と話します。

地域の声を 聞ける環境づくり

まちづくりを進めるうえで大切なことのひとつが、この『住民参加』です。

それは『北海道新幹線倶知安駅の開業に向けたまちづくり』や『国際的なリゾートを目指す観光地づくり』のように、住民の皆さんと一緒に町の現在や将来について考えていく大掛かりなものだけではなくありません。例えば『この道路がデコボコしていて危ない』や『この街灯が消えてしまっている』のような普段生活しているときに感じたことを、町の担当者に伝えて改善していくことも重要です。

特に、このような生活に関することは、普段からその地域で生活している人たちのほうが気付きやすいこともあり、この町を自分たちにとって暮らしやすいところにしていくためには、地域の人たちがまちづくりに関心を持ち、自分のこととして捉え、町に対して自分の思いや声を伝えやすい環境を作っていくことが大切です。

今月号の特集では、6・7月に開催したまちトークで出た話題のほか、皆さんからの意見や要望を聞くために、町が実施している広聴事業について紹介します。

「聴く」から始める まちづくり

まちに思いや声を伝える方法は「まちトーク」以外にも「ご意見ポスト」や「町長室の日」、「町内会を通じた要望」などがあります。

また、これらに限らず住民の皆さんからの意見や要望は、普段からそれぞれの担当で受け付けしています。

ぜひ、俱知安町をより良いまちにしていくために、皆さんの思いや声をまちに届けてみませんか。

☎総合政策課広報聴係 ☎ 56 - 8001

思いをのせて投函 ご意見ポスト

専用の用紙に、まちづくりに関することや日頃から感じている疑問・要望などを記入することで、気軽に町に意見を伝えることができます。

回答が必要な内容に関しては、投函者の氏名・住所が記入してある場合に限り、町から後日回答します。

■設置場所／役場 1 階住民ホール(用紙も設置)

まちのことについて語り合う 町長室の日

個人・団体ごとに申し込みすることで、自由なテーマで町長と語り合うことができます。

■開催日時／毎月第 4 木曜日 13 時～ 17 時

※希望者は第 3 木曜日までに申込(先着 4 団体)

■開催場所／役場 2 階町長会議室

■対話時間／ 1 団体 60 分程度

■対話内容／町政に関わること全般

これまでに寄せられた 読者の声

俱知安の歴史など、まちのことをもっと知ることができる記事を読みたい

新しいおみせや飲食店の方のインタビューを読みたい

いろんな俱知安の写真やまちの情報を住民が投稿する自由なページがあると面白い

子育て情報などの似たようなお知らせは同じページにすべてまとめてほしい

文字が多いのでイラストや写真を使うと良い

よりわかりやすく、親しみやすい広報紙を目指して、広報くつちゃんのアнкеートを実施しています。読んだ感想をはじめ、「こんなページがあったらうれしい」「こんな情報載っていたら助かる」といった皆さんのご意見・ご要望をお聞かせください。



回答はコチラ

広報紙にも あなたの声を

まちトーク
みんなの関心

まちトークで出される意見や要望はさまざまですが、ほとんどの会場で話題に上がるほど関心が高いのが、ごみに関することです。

ここでは、今年度のまちトークで出た「ごみに関する質問」の一部と、それに関連して「間違いやすいごみの出し方」についてお知らせします。

？ 分別の悪いごみ袋で、ごみステーションがいっぱいになって困っている

分別の悪いごみ袋には赤いステッカーを貼り、排出者が分別し直すよう啓発しています。分別されない場合には、次の収集日に回収しているが、収集されずに残っている場合には、住民環境課環境対策室（☎ 56 - 8008）まで連絡してください。

？ 資源ごみの分類が細かくわかりにくい。出し方などがわかりやすくないか

ごみ分別アプリ「さんあ〜る」では、簡単でわかりやすくごみの出し方やごみの分類を教えてください。ぜひ利用してください。

iOS (左) android (右) ▶



？ 衛生ごみは少量でも衛生ごみの袋に入れなければいけないのか

少量の場合には、衛生ごみを別の袋に入れることで、これまでと同様、もやせるごみの袋に入れて出すことができます。

合ってる？ ごみの出し方



汚れたままのごみを入れない

汚れている場合は、必ず洗ってから出す



資源ごみのふたは外す

缶・ビンのふたはもやせないごみ、ペットボトルのふたはプラ製容器包装



ダンボールはひもで縛る

1 枚でも、飛ばないように、たたんでひもで縛る



一人一人がまちづくりを考える

まちトーク参加者の傾向を把握するため、6月28日(火)から7月8日(金)の8会場で参加者アンケートを実施し、67名の方が回答しました。

年代や性別は、いずれも属性に偏りが見られるという結果となり、参加者からは次のような声が聞かれました。

町では、今回のアンケートを生かし、今後は、より幅広い皆さんに参加してもらえよう、周知・開催方法などを検討していきます。

